



Pray for Peace

世界各国の緊急事態に 組合員の思いを込めて… ウクライナ人道危機緊急募金

2022年度は平和についてあらためて考える年となりました。

2月にロシアのウクライナ侵攻が始まり、パルシステムグループ全体でウクライナ人道支援のための緊急募金に取組みました。(2022.3/21～4/15)
参加組合員は、延べ48,845名。パルシステム東京では、5,799万円。
グループ全体では、1億6,697万5,065円が寄せられ、
6つの支援団体に贈呈しました。各団体への寄付、贈呈の様子がパルシステム連合会HPにて公開されています。

[<https://information.pal-system.co.jp/society/220516-bokinhoukoku/>]



ロシア軍との攻防戦により破壊されたウクライナ・キエフ州のようす ©2022ADRA

2022年度平和カンパ 7つのプロジェクトに思いを込めて… (2022.7/4～8/5)



「チェルノブイリ子ども基金」開催の書道教室にて ©チェルノブイリ子ども基金 佐々木真理
紛争や難病、飢餓で苦しむ世界の子どもたちを支援する「平和カンパ」を実施。737万2,672円のカンパが組合員より寄せられました。カンパ金は国際協力NGO等7団体を通じて、世界の子どもたちの支援に役立てられます。

カンパ・募金の金額詳細は4ページをご覧ください。

ごあいさつ

私たちは、平和政策のもと、距離や時間を超えて理解し合い、互いを尊重し合うことを大事にし、平和の活動に取り組んできました。2022年は、紛争や戦争、自然災害などで、多くの人たちの命が失われました。また長引くコロナ禍で困窮する人も増え、「私たちのくらしは平和あってこそ」を実感しました。こんな時だからこそ、52万人の組合員一人ひとりの思いを合わせて、あきらめないこと、つながり合うことを続けていきたいと思います。

トルコ・シリア地震 被災地に思いを寄せる… (2023.2/27～3/24)



2023年2月、トルコ南東部で地震発生。被災者支援のための緊急募金に取組みました。
パルシステム東京から、3,360万1,747円、パルシステムグループ全体ではのべ92,202人から総額9,713万1,253円が寄せられ7つの人道支援団体に贈呈しました。



© UNHCR/Hameed Marouf



生活協同組合パルシステム東京
理事長 松野 玲子

平和な世界…

ヒロシマ・ナガサキ平和スタディツアー

戦争の恐ろしさを学び伝え、核なき世界の実現に向けて行動する活動の一環として役職員が被爆地を訪れ、広島では「カクワカ広島」※1、長崎では「ナガサキ・ユース代表団」※2の方々からお話を伺い、その様子をアーカイブにて配信しました。また、韓国「高陽坡州ドゥレ生協」（以下、ドゥレ生協）から送られた折り鶴も献納しました。

（広島 2022.8/4～8/6、長崎 8/7～8/9）



※1 カクワカ広島：核兵器のない世界に向け情報発信をしているヒロシマの若い世代のグループ



広島平和スタディツアー

※2 ナガサキ・ユース代表団：長崎の若者を対象とした核軍縮に関する国際会議への参加等を行う人材育成プロジェクトのメンバー



長崎平和スタディツアー

2023年1月には、「ドゥレ生協」※と平和スタディツアーの動画を視聴しながら情報交換をしました。コロナ禍でお互いの国を行き来することは難しいですが、オンラインを媒体として、平和への取り組みなど、交流は今後も続けていくことを相方で確認しました。

（2023.2/6）

※ドゥレ生協：2000年の「日韓子ども交流」からお付き合いがはじまり、現在は折り鶴を通して平和交流を行っています。



ウクライナ侵攻から1年持続的な平和を考える

フォーラム

国際交流NGOピースボート、

パルシステム連合会 主催（2023.2/23）



長期化するウクライナ戦争の早期停戦と持続可能な平和の実現のために、国際機関や現場で活動する国際NGO、紛争当事国の専門家などを交えて多角的に議論しました。

パルシステム東京 平和政策

原爆犠牲者之霊

平和な世界を目指します。
一人ひとりが尊重され、いのちを大切に
社会を作ります。
次世代が希望を持てる地域を作ります。

一人ひとりが尊重され…

映画「マイスモールランド」上映会&トークライブ （2022.8/21）

日本に住むクルド人の少女から見た、日本の難民問題を描いた映画「マイスモールランド」を上映。日本に生きる、異国にルーツを持つ人々が抱える問題について、川和田恵真監督、出演者のサヘル・ローズ氏、若い世代の当事者たちが登壇し、トークを行いました。自分のルーツを周囲には言えなかった経験や、言語習得が早い子どもが親を支えなければいけない現実などが語られ、参加者からは「たくさんの人に知ってもらうことが大切」「違いを認める大切さを学んだ」といった声が寄せられました。



©2022「マイスモールランド」製作委員会



次世代が希望を持てる… 平和憲法第2弾

（2022.11/19）

施行から75年を迎えた日本国憲法への理解を深めるため、憲法学者木村草太氏と評論家荻上チキ氏によるトークイベントをオンラインで開催しました。

「憲法における子どもの権利について」を軸に、「親の信仰の自由と子どもの権利」「離婚後の共同親権」「いじめ問題」など様々なテーマをお話いただきました。子どもの人権と憲法について様々な観点から知ることができ、改めて「親権」の法的位置づけを知ることとなりました。また、視聴者から2人にお話してほしいテーマを募集したところ、大変多くのチャットがあり、とても盛り上がりました。



木村 草太 氏：東京都立大学法学部教授（右上）
荻上 チキ 氏：評論家・編集者・ラジオパーソナリティ（中央）



2022年度 主な平和活動

開催日	企画名・内容	参加人数
2022年2月～5月	国際協力NGO3団体の「書き損じハガキ等回収キャンペーン」を実施 ハンガー・フリー・ワールド 寄付件数2,725件／換金額5,447,242円 シャプラニール＝市民による海外協力の会 寄付件数2,934件／換金額5,636,888円 日本国際ボランティアセンター(JVC) 寄付件数2,229件／換金額5,022,074円	合計寄付件数7,888件／ 換金額16,106,204円
3月～4月	「ウクライナ人道危機緊急募金」募集パルシステムグループで1億6,697万5,065円(うちパルシステム東京は5,799万6,863円)を6団体へ寄付	
4月23日	福島・甲状腺がんを発症した若者たちの訴え チェルノブイリ子ども基金主催 【オンライン】	168名(非組合員含む)
5月22日	ピースアクション in Tokyo ～つないでつないで 東京から平和を～ 広島・長崎市長からのメッセージ他 【ハイブリッド】	会場参加96名、 オンライン41名
6/20、6/24、7/7	「書き損じハガキ等回収キャンペーン」スピンオフ企画・私たちが送った切手の仕分けボランティア 協力:ハンガー・フリー・ワールド、シャプラニール＝市民による海外協力の会、日本国際ボランティアセンター	21名
7月9日	憲法カフェ・オンライン「教えてユウセイ先生!」憲法ってなあに? 【オンライン】	34名
7月～8月	【平和カンパ】 組合員から寄せられたカンパ 総額7,372,672円を国際協力NGO等7団体に贈呈	
8月4日～5日	2022ピースアクションinヒロシマ／主催:日本生協連、広島県生協連、「被爆の証言・山田 寿美子さん」、「被ばく体験詩の朗読会・演劇集団ふらっと」、デジタルアーカイブ等を活用した継承学習会、「被爆体験伝承講話」、「虹のひろば」他 【オンライン】	95生協、のべ9,100名
8月7日～8日	広島・長崎平和スタディツアー(役職員研修)	11名
8/4、8/24	夏休み親子企画 私たちが送った切手の仕分けボランティア 協力:日本国際ボランティアセンター(JVC)、ハンガー・フリー・ワールド	10名
8月21日	「マイスモールランド」上映会&トークイベント～ここに居たいと願うことは罪ですか～	63名
9月	「パルシステム東京平和活動レポート(2021年度) Pray for Peace」をweb発行	
2023年1月21日	NGOと世界旅行! 私にもできる国際協力 講師:NGO3団体の職員(シャプラニール＝市民による海外協力の会・日本国際ボランティアセンター(JVC)、ハンガー・フリー・ワールド) 【オンライン開催】	5組7名
10月22日	東海林先生と歩く「世田谷戦跡めぐり」 【ハイブリッド】	現地15名 オンライン16名
11月19日	憲法学者木村草太&評論家荻上チキと考える日本国憲法 講師:木村 草太氏(憲法学者)、荻上 チキ氏(NPO法人「ストップいじめ!ナビ」代表理事) 【オンライン】	141名
1月28日	クーデターから2年～ミャンマーは今～写真展&トークライブ	55名
2月6日	韓国高陽坡州ドゥレ生協&パルシステム東京オンライン役職員交流会	14名 (ドゥレ生協5名、 パルシステム東京9名)
2月22日	全国生協の役職員、平和活動委員を対象に「ピースアクション2022キックオフ集会」～地域の平和活動と継承～主催:日本生協連 【オンライン】	35生協、178名
2月23日	「侵攻から1年 ウクライナに持続可能な平和を!」フォーラムパルシステム連合会 【ハイブリッド】	
2月27日～3月24日	【トルコ・シリア地震緊急支援募金】パルシステムグループで9,713万1,253円(うちパルシステム東京は3,360万1,747円)を7団体へ寄付	
3月23日	ピースアクションinオキナワ～第40回沖縄戦跡・基地めぐり～ 「沖縄で学ぶ子どもと戦争」/主催:日本生協連、沖縄県生協連 【オンライン】	27生協、71名

【2022年度平和カンパ一覧】(パルシステム東京独自取組み) 総額 737 万 2,672 円のカンパが寄せられました。

贈呈先	プロジェクト名	贈呈額
ベシヤワール会	アフガニスタン・命の水を待ち望む子どもたちへ	1,375,179円
JIM-NET	イラク・白血病などの治療を受ける子どもたちへ	890,904円
シェア＝国際保健協力市民の会	カンボジア・栄養改善が最も必要な子どもたちへ	1,067,082円
シャンティ国際ボランティア会	タイ国境(難民キャンプ)・学びの場を待ち望む子どもたちへ	918,609円
チェルノブイリ子ども基金	ウクライナ・ベラルーシ小児ガンなどの治療を受ける子どもたちへ	1,154,550円
AAR Japan[難民を助ける会]	トルコ(シリア難民)・紛争で故郷を追われた子どもたちへ	976,536円
パレスチナ子どものキャンペーン	パレスチナ(ガザ地区)・軍事封鎖下のガザの子どもたちへ	989,812円
合 計		7,372,672円

【ウクライナ人道危機緊急募金一覧】(パルシステムグループ統一取組み)
パルシステムグループ全体で総額1億6,697万5,065円)、
うちパルシステム東京は、総額5,799万6,863円が寄せられました。

寄付先候補団体	贈呈額
認定特定非営利活動法人 ADRA Japan (アドラ・ジャパン)	33,395,013円
一般社団法人ピースポート災害支援センター (PBV)	33,395,013円
認定特定非営利活動法人 AAR Japan[難民を助ける会]	33,395,013円
認定特定非営利活動法人 国連UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)協会	22,263,342円
公益財団法人 日本ユニセフ協会	22,263,342円
日本赤十字社	22,263,342円
総額	166,975,065円

【トルコ・シリア地震緊急支援募金一覧】(パルシステムグループ統一取組み)
総額9,713万1,253円、うちパルシステム東京は、
3,360万1,747円が寄せられました。

寄付先団体	寄付金額 (円)
一般社団法人ピースポート災害支援センター (PBV)	13,905,553円
認定特定非営利活動法人 ADRA Japan (アドラ・ジャパン)	13,870,950円
認定特定非営利活動法人難民を助ける会 (AAR Japan)	13,870,950円
特定非営利活動法人 国連UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)協会	13,870,950円
公益財団法人 日本ユニセフ協会	13,870,950円
認定特定非営利活動法人国境なき医師団	13,870,950円
公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン	13,870,950円
総額	97,131,253円

協賛等

- 公益財団法人第五福竜丸平和協会へ賛助会費納入(6月)
- 国連UNHCR協会(国連難民高投弁務官事務所)へ広報協力(11月)
- 東京大空襲戦災資料センター2023年度維持会員として会費納入(2023年2月)

意見書

- アメリカ合衆国における臨海前核実験実施に抗議します(4月)

意見書一覧はコチラ→

